

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010100	事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	数量調整円滑化推進事業	予算事業名	数量調整円滑化推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	室井 良太	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家				
	誰(何)を対象として	農家				
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		米の生産数量(作付面積)を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	水稲作付面積	ha	200	190	186	198
	転作実施面積	ha	229	225	219	220

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.696	0.724	104	0.612	85	0.552	90	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,592,786	5,958,944	107	4,919,348	83	4,672,244	95	
	事業費	174,000	159,000	91	149,000	94	149,000	100	
	合計	5,766,786	6,117,944	106	5,068,348	83	4,821,244	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		119,000	-	119,000	100	119,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,766,786	5,998,944	104	4,949,348	83	4,702,244	95	
合計	5,766,786	6,117,944	106	5,068,348	83	4,821,244	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	203	202	99.5	198	98.0	198	100.0	
	実績	200	190	95.0	186	97.9			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	220	220	100.0	230	104.5	220	95.7	
	実績	229	225	98.3	219	97.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

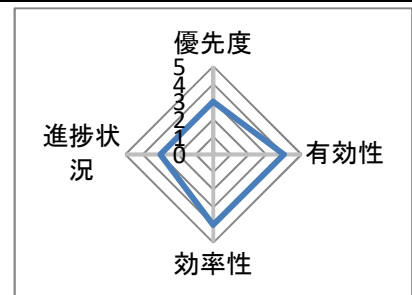
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値は達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の作付面積調整により、米価を維持し農地の保全が図られた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	営農知識のあるJAや赤相農業共済組合といった関係機関と連携し効率的に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	経営所得安定対策に協力する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	現地確認を、交付金の対象農地に限定することで事務の簡略化と農家負担軽減を図る。

配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010200		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業		予算事業名	夢ある農村づくり推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落					
	誰(何)を対象として	農家・集落					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市独自の水田農業を確立するため、特産品・直売所等のPR経費等に対し助成を行う。また、集落の農地は集落が守るを原則として集落営農組織育成のための活動に助成を行					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市独自の水田農業を確立するため、特産品及び農産物直売所の生産拡大やPR経費等、また集落営農組織の共同活動に対して補助を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	産地づくり補助	団体	5	6	4	9	
	集落活性化補助	集落	2	2	2	2	
	イベント補助	集落	2	1	2	2	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.554	0.400	72	0.440	110	0.392	89	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	4,522,816	3,458,312	76	3,640,700	105	3,415,444	94	
	事業費	2,735,300	2,785,120	102	2,742,600	98	2,800,000	102	
	合計	7,258,116	6,243,432	86	6,383,300	102	6,215,444	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,258,116	6,243,432	86	6,383,300	102	6,215,444	97	
合計	7,258,116	6,243,432	86	6,383,300	102	6,215,444	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助件数							
指標説明(式)		産地づくり補助件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	5	6	120.0	4	66.7			
指標名2		集落活性化補助件数							
指標説明(式)		取り組み集落件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	3	2	66.7	2	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

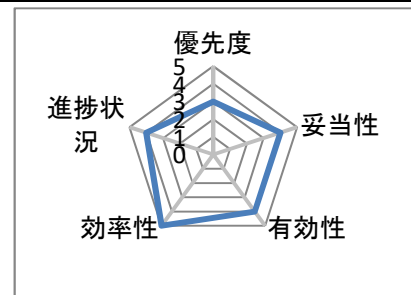
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	「ゆずみそ」がモンドセレクションでの優秀品質銀賞を受賞したことで、特産品の生産拡大による6次産業化の推進機運が高まった。	4
	市民サービス	集落活動や直売所、加工所への助成をすることによって、地域の活性化を促し市民へのサービス向上につながった。	
効率性	負担割合の適正化	集落活動や直売所、加工所の団体に対しては、法人化や地域間交流等を計画的に取り組んでいる集落や、担い手育成等に取り組んでいる団体に対して助成するほか、限度額を設けて助成することで、負担割合の適正化を図った。	5
	手段の最適性	各団体の発展を促すには必要な施策であった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	広域で連携した活動が行えるよう、活動団体への指導や助言が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	効率的に制度の周知を行うことで、団体の活動しやすくなるように取り組む。

配点	32.5
総合評価	25

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010400		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	農業金融制度利子補給事業		予算事業名	農業金融制度利子補給事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)					
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者(認定農業者)に貸し付けた資金について利子補給を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	農業近代化資金	件	0	0	0	1	
	農業経営基盤強化資金	件	2	1	1	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.064	100	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	830,666	865,064	104	845,516	98	839,004	99	
	事業費	11,643	1,512	13	0	0	45,000	-	
	合計	842,309	866,576	103	845,516	98	884,004	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	842,309	866,576	103	845,516	98	884,004	105	
合計	842,309	866,576	103	845,516	98	884,004	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	4	100.0	3	75.0	3	100.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

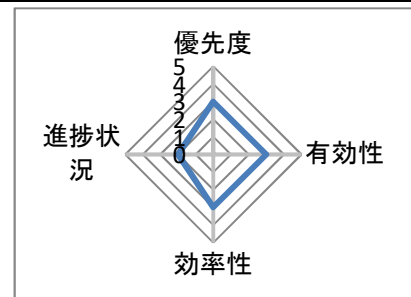
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少なかった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果があった。	
効率性	手段の最適性	農業者への利子補給を補助金として実施するのは効率的である。	3
	執行体制の効率性	県の随伴助成もあり簡素化はされている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗した。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	認定農業者が少なく、農業施設整備の頻度がそれほど多くない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度周知により、農家が設備投資を行いやすい環境を整える。

配点	25
総合評価	14

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010500	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業	予算事業名	上松農業共同作業所管理事業   優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高   担当者名
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無   主要事業の指定
実施計画事業名		上松農業共同作業所管理運営事業			
根拠法規及び関連法規		相州市立上松農業共同作業所の設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域農業の振興のため、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者のために共同で農機具等を使用する施設の管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	乾燥調整量	袋	946	946	684	1,000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	619,686	648,960	105	637,364	98	619,064	97	
	事業費	57,260	10,160	18	45,450	447	195,000	429	
	合計	676,946	659,120	97	682,814	104	814,064	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	676,946	659,120	97	682,814	104	814,064	119	
合計	676,946	659,120	97	682,814	104	814,064	119		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)		地元の農家等が持ち込んだ糶摺り等の量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0	1,000	100.0	
	実績	946	946	100.0	684	72.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

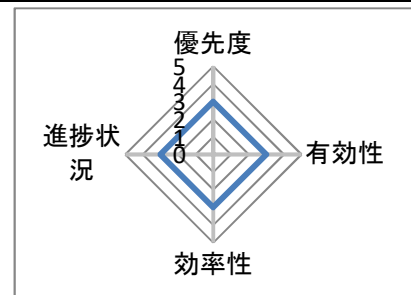
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ブロックローテーションの加減で安定的に利用ができないときがある。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	執行体制の効率性	指定管理者による運営とすることで効率的に施設を管理している。	3
	コストの節減	指定管理者による運営とすることでコストの削減が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

配点	25
総合評価	15



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010600	事業の種類	6
年度	30	事務事業名	土地改良事業	予算事業名	土地改良事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名 船曳 直志
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名		その他農林水産(市単土地改良事業) ため池整備事業(点検) ため池整備事業		多面的機能交付金事業 ため池整備事業(調査設計)	
根拠法規及び関連法規		相模市土地改良事業分担金徴収条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者			
	誰(何)を対象として	農業用施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。 ため池調査計画事業の実施(定期点検・耐震化対策整備計画策定)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	市単独土地改良工事	地区	8	16	12	8
	ため池耐震化整備計画	箇所		1	2	0
	ため池定期点検	箇所			57	12

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.860	0.880	102	1.256	143	1.592	127	
	臨時職員	0.080	0.080	100		0	0.080	-	
支出内訳	人件費	7,037,086	7,373,672	105	9,706,844	132	13,071,044	135	
	事業費	38,721,159	54,453,333	141	62,457,239	115	44,072,000	71	
	合計	45,758,245	61,827,005	135	72,164,083	117	57,143,044	79	
財源内訳	国庫支出金		36,524,540	-	39,144,540	107	24,477,384	63	
	県支出金		5,237,769	-	10,237,769	195	5,371,192	52	
	市債			-		-		-	
	その他		1,465,488	-	1,131,840	77	1,200,000	106	
	一般財源	45,758,245	18,599,208	41	21,649,934	116	26,094,468	121	
合計	45,758,245	61,827,005	135	72,164,083	117	57,143,044	79		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	98.5	98.5	98.1	99.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

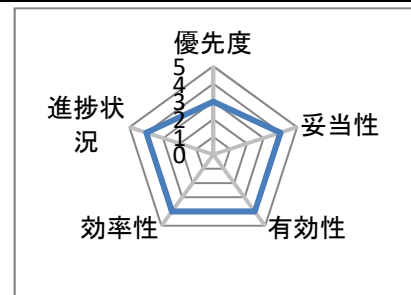
指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.7	98.5	98.8	98.1	99.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	4
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	緊急性の高いものを優先して対応する必要があるが、かなりの施設で老朽化が顕著となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	緊急性の高いものと、計画的に改修するもので優先順位をつけ対応していく。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010800		事業の種類	0	
年度	30	事務事業名	農業委員会事務		予算事業名	農業委員会費事務経費 優先度 -	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	農業委員会農業委員会	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	室井 良太
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		農地法、農業委員会等に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業及び農地にかかわる市民					
	誰(何)を対象として	農業及び農地にかかわる市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農地の転用及び権利移転等の適正化、遊休農地の発生防止並びに担い手農業者への農地の集積・集約化等の推進					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		1. 農地の売買・貸し借りその権利移動等、農地法に定められた規定に基づく事務 2. 農業者年金受給・加入関係書類の受理等の農業者年金基金法に基づく事務 3. 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書に基づく事務				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	農地法関係事務	件	74	96	107	100
	農業経営基盤強化促進法関係事務	件	171	195	158	150
	農業者年金関係事務	件	11	11	12	11

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.684	0.735	107	1.744	237	1.780	102	
	臨時職員	1.000	1.000	100		0		-	
支出内訳	人件費	8,109,366	8,677,842	107	13,334,636	154	14,318,184	107	
	事業費	6,681,773	8,161,396	122	9,333,814	114	8,568,000	92	
	合計	14,791,139	16,839,238	114	22,668,450	135	22,886,184	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,791,139	16,839,238	114	22,668,450	135	22,886,184	101	
合計	14,791,139	16,839,238	114	22,668,450	135	22,886,184	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		遊休農地面積							
指標説明(式)		農地の利用状況調査により把握した遊休農地面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	4.9	5.1	104.1	2.9	56.9	3.5	120.7	
	実績	5.6	3.0	53.6	3.9	130.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

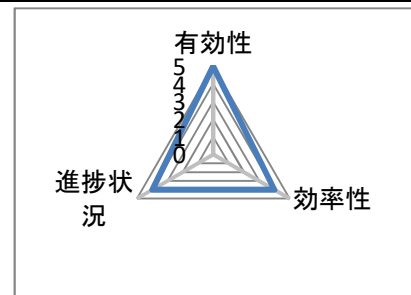
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	全国農地ナビの導入により、市内外の農地の情報が一元化され、インターネットを活用して全国から農地の受け手が希望の農地を探せるようになった。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	法令に基づく適正な事務の執行を図ることで、農地の保全が図られている。	
効率性	コストの節減	県農業会議の協力の下、周辺他市町の農業委員会と共同で研修会を開催し、コストの節減を図った。	4
	執行体制の効率性	市の農林水産担当業務との兼務により、効率的な業務の執行が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農家農業者等の利益代表者機関として機能を果たした。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新体制における効果的な活動体制の確立。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	農地利用最適化推進委員の計画的・効果的な活動内容の検討。

配点	32.5
総合評価	13

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011000		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	農業総務費事務経費		予算事業名	農業総務費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	室井 良太
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農会長ほか、各種団体との連携強化						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適切な農業行政の推進						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		農業行政推進のための基礎的な業務				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	農家戸数	戸	940	933	914	910

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.216	0.216	100	0.292	135	0.292	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,975,986	2,038,200	103	2,540,468	125	2,629,944	104	
	事業費	5,752,080	5,728,580	100	5,699,860	99	5,702,000	100	
	合計	7,728,066	7,766,780	101	8,240,328	106	8,331,944	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,728,066	7,766,780	101	8,240,328	106	8,331,944	101	
合計	7,728,066	7,766,780	101	8,240,328	106	8,331,944	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	950	940	98.9	920	97.9	910	98.9	
	実績	940	933	99.3	914	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

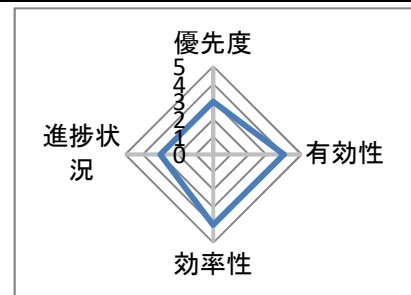
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう図った。	4
	組織運営・適正管理	円滑な農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たった。	
効率性	コストの節減	赤相農業共済事務組合(一部事務組合)により、コスト節減が図られている。	4
	執行体制の効率性	農会長と連携しながら、農業振興を図ることで、効率的な情報収集や農業関係情報の周知が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	総農家数が減少しているなか、各農会との効率的な調整・連携による既存農家や新規就農者の確保が必須となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各農会長や、農家・新規就農者との良好な調整・連携体制の構築を図る。

配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	室井 良太
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		新規就農者確保事業		集落営農組織高度化促進事業			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	経営所得の安定化や担い手の育成					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業の振興と不耕作地の解消を図る					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費 認定新規就農者の拡大				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	経営所得安定対策加入者	戸	449	428	92	100
	認定新規就農者	人	4	1	2	4
	集落営農の法人化				0	1
	集落営農の組織化			1	0	1

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.224	0.252	113	0.280	111	0.212	76	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,036,266	2,316,048	114	2,451,260	106	2,001,544	82	
	事業費	7,680,600	11,856,640	154	28,205,380	238	18,837,000	67	
	合計	9,716,866	14,172,688	146	30,656,640	216	20,838,544	68	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,716,866	14,172,688	146	30,656,640	216	20,838,544	68	
合計	9,716,866	14,172,688	146	30,656,640	216	20,838,544	68		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)		経営所得安定対策への加入者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	500	100.0	100	20.0	
	実績	449	428	95.3	92	21.5			
指標名2		認定新規就農者							
指標説明(式)		市の基本構想に沿って新たに農業経営を開始する45歳未満の青年等							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	3	100.0	7	233.3	4	57.1	
	実績	4	1	25.0	2	200.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

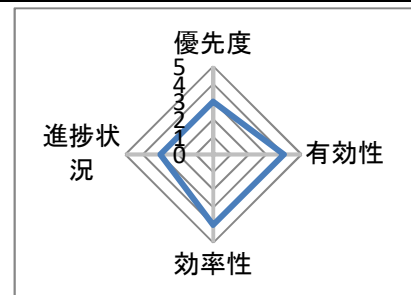
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	・農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行った。 ・認定新規就農者の増加により、農業の担い手が育成された。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行った。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	・経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会及び県と連携を図った。 ・県やJAと連携しながら、担い手の育成を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各種申請様式や制度周知など農家の負担が大きくなってきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新規就農者の定着化及び増加を図るため、きめ細やかな連絡体系を確立する。

配点	25
総合評価	17



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011300		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	中山間地域等直接支払事業		予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	事業実施集落	地区	6	6	6	6	

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.220	0.212	96	0.204	96	0.204	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,006,126	2,007,328	100	1,886,276	94	1,938,704	103	
	事業費	2,902,760	2,832,984	98	2,815,894	99	2,851,000	101	
	合計	4,908,886	4,840,312	99	4,702,170	97	4,789,704	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,073,058	2,103,385	101	2,105,079	100	2,112,840	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,835,828	2,736,927	97	2,597,091	95	2,676,864	103	
合計	4,908,886	4,840,312	99	4,702,170	97	4,789,704	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業実施集落協定数							
指標説明(式)		事業実施集落協定数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
集落協定	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

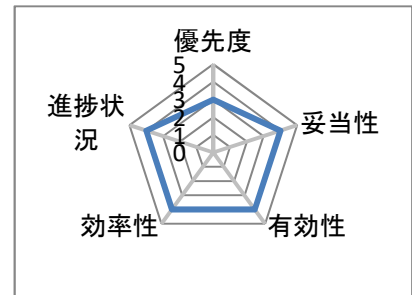
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	農地管理者の高齢化不足により集落の負担が大きい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020100	事業の種類	3
年度	30	事務事業名	水産業振興費事務経費	予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	室井 良太
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	漁業者数	人	55	55	52	55

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.020	125	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	494,600	105	518,420	105	493,384	95	
	事業費	138,640	130,000	94	85,640	66	148,000	173	
	合計	607,626	624,600	103	604,060	97	641,384	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	607,626	624,600	103	604,060	97	641,384	106	
合計	607,626	624,600	103	604,060	97	641,384	106		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁業経営体数							
指標説明(式)		漁業経営体数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
経営体	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

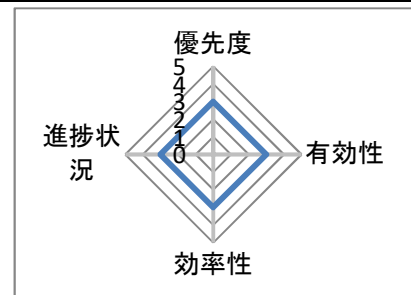
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安心した生活のため、漁業近代化資金の借入事務について適正な漁業行政を展開し、漁業者数を維持した。	3
効率性	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	出資以外の適切な事務分担の把握。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	出資を平成29年度で終えたことにより、事務の軽減に努める。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	室井 良太
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		漁業経営構造改善事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキの安心・安全をPRすることで販売促進を行うため、ノロウイルス等の検査や補助金の交付を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	検査	回	24	24	24	24	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.068	100	0.068	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	860,806	895,936	104	875,252	98	870,424	99	
	事業費	500,000	15,560,000	3,112	21,846,000	140	9,040,000	41	
	合計	1,360,806	16,455,936	1,209	22,721,252	138	9,910,424	44	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,360,806	16,455,936	1,209	22,721,252	138	9,910,424	44	
合計	1,360,806	16,455,936	1,209	22,721,252	138	9,910,424	44		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウイルス等検査実施回数							
指標説明(式)		ノロウイルス等検査実施回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	24	100.0	24	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2		補助金支出件数							
指標説明(式)		漁業者が設置・整備する施設に対し補助金を交付した件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績		2	-	1	50.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

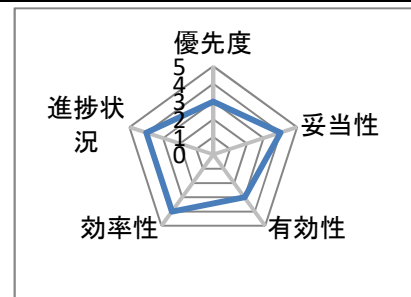
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	食の安全安心を求める市民の要望に応える事ができている。	3
	成果の向上	相生カキの生産振興により漁業後継者の育成や、漁業者の保護につながった。	
効率性	手段の最適性	定期的なウイルス検査や補助金交付はカキの品質確保の手段として適正である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	種カキの安定的な確保。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	施設整備等に係る補助事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020300	事業の種類	3
年度	30	事務事業名	漁船保険補助事業	予算事業名	漁船保険補助事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名 室井 良太
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		漁船災害等補償法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	漁船保険加入者	隻	88	87	91	92

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
	事業費	1,801,154	1,779,034	99	1,900,196	107	1,905,000	100	
	合計	2,270,140	2,273,634	100	2,388,880	105	2,366,964	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,270,140	2,273,634	100	2,388,880	105	2,366,964	99	
合計	2,270,140	2,273,634	100	2,388,880	105	2,366,964	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの保険料額							
指標説明(式)		保険料額/隻							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0	20000	100.0	
	実績	20,468	20,449	99.9	20881	102.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

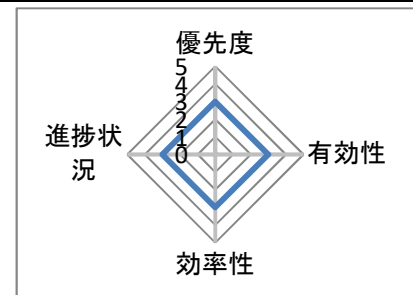
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成した。	3
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理された。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組んだ。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	加入促進に向けた制度周知等が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	漁協との連携により制度周知を図る。

配点	25
総合評価	15



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020400	事業の種類	3
年度	30	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	室井 良太
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利子補給件数	人	19	19	20	23

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
	事業費	1,056,338	540,689	51	453,800	84	792,000	175	
	合計	1,525,324	1,035,289	68	942,484	91	1,253,964	133	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,525,324	1,035,289	68	942,484	91	1,253,964	133	
合計	1,525,324	1,035,289	68	942,484	91	1,253,964	133		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(52名)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	15	100.0	20	133.3	20	100.0	
	実績	35	35	100.0	38	108.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

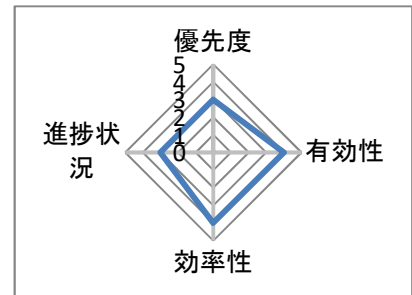
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営の安定化が図れた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県信漁連と連携を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁船の大型化、高度化に伴い設備負担が大きくなってきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の負担軽減に向けた施策の在り方について関係団体と検討した。

配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名 宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る			実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		水産物市場整備事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	地域水産物及び特産品の振興と販売促進					
	意図(どのような状態にしたいのか)	担い手漁業者の確保及び育成を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	修繕件数	件	3	4	5	3	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.068	100	0.148	218	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	860,806	895,936	104	875,252	98	1,498,824	171	
	事業費	750,504	636,366	85	2,161,996	340	1,296,000	60	
	合計	1,611,310	1,532,302	95	3,037,248	198	2,794,824	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,611,310	1,532,302	95	3,037,248	198	2,794,824	92	
合計	1,611,310	1,532,302	95	3,037,248	198	2,794,824	92		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)		水産物市場における修繕発注件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	4	133.3	5	125.0			
指標名2		集客数							
指標説明(式)		水産物市場年間利用客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	88,000	88,000	100.0	88,000	100.0	88,000	100.0	
	実績	73,577	52,212	71.0	47,737	91.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

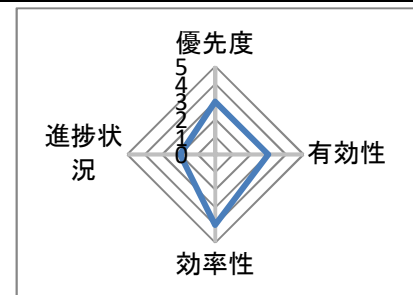
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集計方法の変更により利用客は減少しているが、売上は伸びている。	3
	組織運営・適正管理	水産物市場としての機能及び漁業者への貢献度は低い。	
効率性	コストの節減	指定管理者制度により委託料を無料としていることからコストの削減を図っている。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度を活用し、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県による港湾使用許可に関する指導については、是正を行った。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	港湾使用許可に関する指導が行われた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	適切な指導を行い、指定管理者に対して適正な施設運営を求めていく。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5				
年度	30	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課				
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高		担当者名	船曳 直志	
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	林業教室受講者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	補助金	団体	1	1	1	1

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計						事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.092	128	0.148	161	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	890,946	926,808	104	1,053,668	114	1,510,304	143	
	事業費	560,100	5,476,659	978	23,101,696	422	18,105,000	78	
	合計	1,451,046	6,403,467	441	24,155,364	377	19,615,304	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,451,046	6,403,467	441	24,155,364	377	19,615,304	81	
合計	1,451,046	6,403,467	441	24,155,364	377	19,615,304	81		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	145	138	95.2	180	130.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

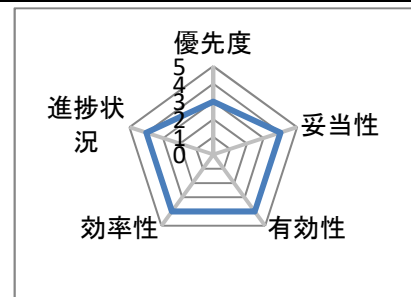
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	4
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 87回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	林業研究グループの高齢化



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	林業教室の生徒から林研グループの指導者への流れを作る

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	船曳 直志
取組み事項		交流拠点の活用とネットワーク化を促進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	園内清掃除草	件	1	1	1	1	

## 3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.112	0.072	64	0.044	61	0.036	82	
	臨時職員			-		-	0.008	-	
支出内訳	人件費	1,192,346	926,808	78	696,836	75	642,024	92	
	事業費	645,646	664,592	103	617,903	93	731,000	118	
	合計	1,837,992	1,591,400	87	1,314,739	83	1,373,024	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,837,992	1,591,400	87	1,314,739	83	1,373,024	104	
合計	1,837,992	1,591,400	87	1,314,739	83	1,373,024	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

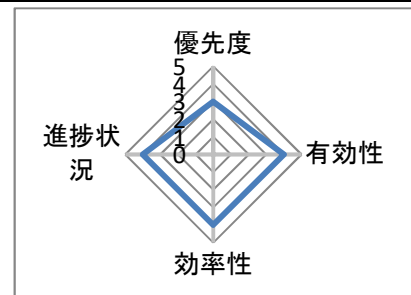
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	4
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により、適切な管理は行われているが、施設利用者の固定化が顕著となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の更なる有効利用の検討。

配点	25
総合評価	18



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201050100	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	6次産業化ネットワーク活動事業	予算事業名	優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		地域特産物の充実を図る		担当者名	横川 昌紀
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業者及び水産業者			
	誰(何)を対象として	6次産業化の取組			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、収益力を高め、地産地消として地域の活性化や雇用の創出を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化を推進するための計画策定(改定を含む)</li> <li>6次産業化の取組に対する助成</li> </ul>				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	補助事業の実施	件	0	0	0	0

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	408,706	432,856	106	429,212	99	399,124	93	
	事業費			-		-		-	
	合計	408,706	432,856	106	429,212	99	399,124	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	408,706	432,856	106	429,212	99	399,124	93	
合計	408,706	432,856	106	429,212	99	399,124	93		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		6次産業化に取り組む事業者数							
指標説明(式)		6次産業化・地産地消法第5条に基づく総合化事業計画の認定を受け、6次産業化に取り組んでいる事業者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		6次産業化の取組で生産販売する商品数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
品	目標	11	13	118.2	15	115.4	15	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

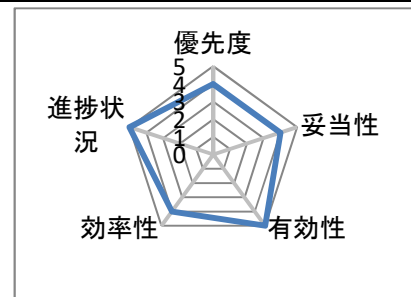
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年8月11日に制定した「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、メロンシャーベットやゆず味噌シフォンケーキが商品化された。	5
	市民サービス	新たな商品開発と収益向上の取組により、女性や高齢者の労働意欲、生きがいづくりにつながった。	
効率性	手段の最適性	「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づき、計画的な事業実施を図った。	4
	コストの節減	国・県の補助事業を活用することで、市の費用負担を減らし、効率的な事業実施に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成30年度より新たに、「野瀬かんぴょう」の栽培・育成に取り掛かるなど、概ね順調である。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	安定的な原材料を確保する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	商品の売り上げは拡大傾向であり、生産拡大に向けた経営体の組織強化を図る。

配点	32.5
総合評価	28

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010300		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	商工業対策事業		予算事業名	商工業対策事業 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡部 一成
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者					
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	兵庫県物産協会負担金	円	25000	25000	25000	26000

## 3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.124	0.104	84	0.104	100	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,282,766	1,173,784	92	1,142,876	97	1,153,204	101	
	事業費	32,920	25,000	76	28,880	116	34,000	118	
	合計	1,315,686	1,198,784	91	1,171,756	98	1,187,204	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,315,686	1,198,784	91	1,171,756	98	1,187,204	101	
合計	1,315,686	1,198,784	91	1,171,756	98	1,187,204	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		県物産協会販売状況							
指標説明(式)		ひょうごふるさと館内に設置しているイベントコーナー3か所での販売日数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	1089	1089	100.0	1089	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

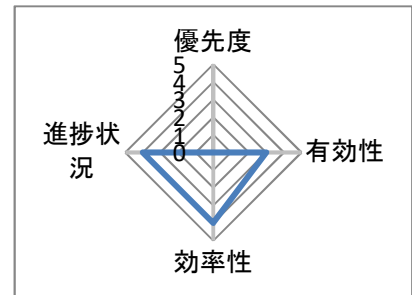
指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2.56	2.56	100.0	2.33	91.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡大事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	財政負担が厳しくなっているため、効率的な運営を行っていただけるように求めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	協会の活動を理解し、関係性を強めていくことが重要である。

配点	25
総合評価	11

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010400		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	地場産業振興センター事業		予算事業名	地場産業振興センター事業   優先度		3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡部 一成	
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業						
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター						
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	地場産業振興センター事業負担金	円	281000	284000	284000	284000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	559,406	587,216	105	577,892	98	556,224	96	
	事業費	281,000	284,000	101	284,000	100	284,000	100	
	合計	840,406	871,216	104	861,892	99	840,224	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	840,406	871,216	104	861,892	99	840,224	97	
合計	840,406	871,216	104	861,892	99	840,224	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0	50000	100.0	
	実績	49239	54961	111.6	57827	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

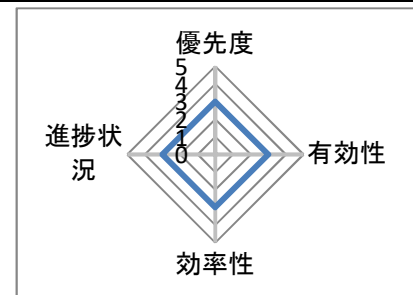
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	販売する地場産品の数が関係自治体にとってまちまちであり、当市は少ない方である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	売上高による割合が、負担金の割合に対して適切かどうかを検討する。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡部 一成
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織					
	誰(何)を対象として	商店街共同施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラ舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
			428680	688512	0	0	

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.008	0.004	50	0.004	100	0.004	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	408,706	401,984	98	399,476	99	367,704	92	
	事業費	428,680	688,512	161		0		-	
	合計	837,386	1,090,496	130	399,476	37	367,704	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	837,386	1,090,496	130	399,476	37	367,704	92	
合計	837,386	1,090,496	130	399,476	37	367,704	92		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1	2	200.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、29年度はほんまち商店街にLED街路灯55基を設置、相生駅前商店街にLED街路灯13基を設置するのに補助を行った。30年度は補助申請なし。	3

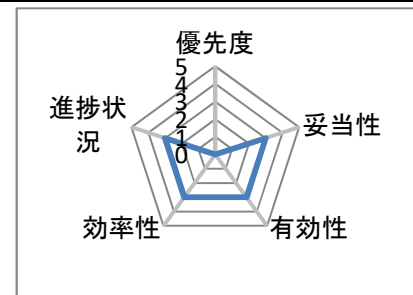
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	商店街は、人の流れにより徐々に形成されてきたもので、人の流れが少なくなったいま、現体制を維持することも難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	街路灯の補助としての役目を担っているため、事業を継続していく必要がある。



配点	32.5
総合評価	13.5



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010600		事業の種類			
年度	30	事務事業名	地域振興事業		予算事業名	地域振興事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡部 一成	
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	低所得者、子育て世帯						
	誰(何)を対象として	低所得者、子育て世帯						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消費税引き上げに伴う低所得者、子育て世帯の消費に与える影響の緩和						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		25%のプレミアム付商品券を販売し、消費税増税に伴う低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	商品券販売数				-	8800	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.029	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	369,740	-	336,284	91	
	事業費			-	0	-	235,060,000	-	
	合計			-	369,740	-	235,396,284	63,665	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	369,740	-	235,396,284	63,665	
合計			-	369,740	-	235,396,284	63,665		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		商品券販売数							
指標説明(式)		冊数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	-	-	8800	-	
	実績			-	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

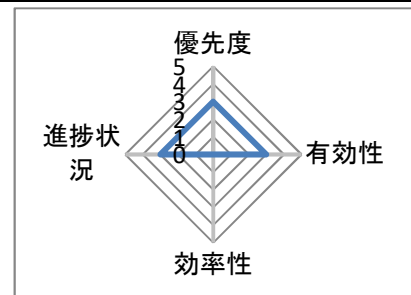
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	地域振興課だけで行える事業でないため、庁内担当部署の協力が必要である。	3
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成31年度商品券販売に向けた準備作業を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業を円滑に行える体制づくりが必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業を行うに当たりさらにコスト節減を行う必要がある。

配点	32.5
総合評価	16.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010700	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	商店街空店舗等活用事業	予算事業名	商店街空店舗等活用事業 優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商業者			
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空店舗で事業をされる商業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	3年間にわたり家賃の補助をすることで、新規に商店街空店舗で開業していただき、空店舗の増える商店街の活気を取り戻す。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	市内の商店街の振興を図るため、当該商店街が形成されている地域で空き店舗を借り上げ、出店する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	補助金受領者数(新規)	店	2	1	1	1
	出店維持数	店	17	16	16	16

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.160	0.104	65	0.104	100	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,554,026	1,173,784	76	1,142,876	97	1,153,204	101	
	事業費	1,027,000	1,122,000	109	909,000	81	1,487,000	164	
	合計	2,581,026	2,295,784	89	2,051,876	89	2,640,204	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,581,026	2,295,784	89	2,051,876	89	2,640,204	129	
合計	2,581,026	2,295,784	89	2,051,876	89	2,640,204	129		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	新規出店数								
指標説明(式)	数								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2	1	50.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2	補助店舗の営業継続率								
指標説明(式)	営業継続店舗数÷補助需給店舗×100								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	85.7	81.8	95.4	73.9	90.3	70	94.7	
	実績	80.9	72.7	89.9	69.6	95.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

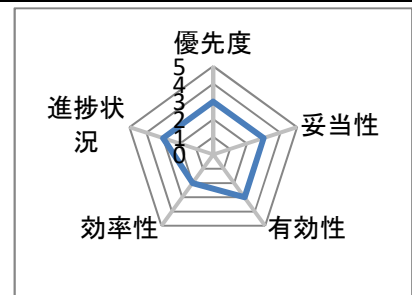
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、開業意欲につなげる事ができた。	3
	市民サービス	商店街の周辺には住宅があり、商店街の活性化は、市民生活に大きく影響する。商店街の存続は、特に車に乗らない高齢者にとってサービスに直結するものがある。	
効率性	コストの節減	今後、補助率及び補助期間の見直しを図る必要がある。	2
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空店舗を喰い止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1件の新規利用者があった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	昔とは人の流れが変わった商店街に出店することは難しく、新規の利用を増やすことは難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	創業支援事業とセットで実施することで、創業者の意欲向上につなげていく。

配点	32.5
総合評価	18.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010800		事業の種類	5				
年度	30	事務事業名	まちの駅推進事業		予算事業名	まちの駅推進事業		優先度	-	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本秀文		担当者名	岡部一成	
取組み事項		魅力ある商業集積を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客								
	誰(何)を対象として	市民・観光客								
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	加盟数	店	20	20	20	20	

## 3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.048	0.060	125	0.060	100	0.060	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	710,106	834,192	117	815,780	98	807,584	99	
	事業費	297,000	294,000	99	291,000	99	288,000	99	
	合計	1,007,106	1,128,192	112	1,106,780	98	1,095,584	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,007,106	1,128,192	112	1,106,780	98	1,095,584	99	
合計	1,007,106	1,128,192	112	1,106,780	98	1,095,584	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちの駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちの駅加盟店舗数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

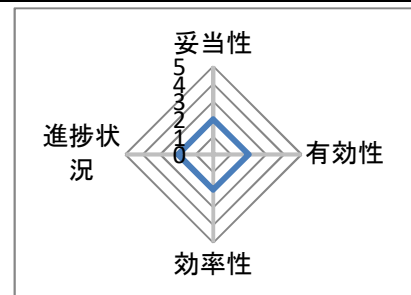
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	2.85	100.0	
	実績	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	2
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちの駅ネットワークを拠点としたまちづくりを進めることが出来た。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	実際の利用が乏しい状況である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	これまでの取り組みにより当初の目的は達成された。

配点	32.5
総合評価	9

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010900	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	商店街活性化事業	予算事業名	商店街活性化事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	岡部 一成
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	商店主			
	誰(何)を対象として	商店主			
	意図(どのような状態にしたいのか)	商店主に将来的な商店街のあり方について調査し、市、商工会議所、商店連合会とが連携しながら商店街の方向性を協議し、今後の事業の計画を立案する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	商店連合会加盟数	店	119	117	112	110

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.144	0.132	92	0.132	100	0.132	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,433,466	1,389,888	97	1,351,028	97	1,373,144	102	
	事業費	150,000	150,000	100	150,000	100	150,000	100	
	合計	1,583,466	1,539,888	97	1,501,028	97	1,523,144	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,583,466	1,539,888	97	1,501,028	97	1,523,144	101	
合計	1,583,466	1,539,888	97	1,501,028	97	1,523,144	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		商店連合会加盟店舗数							
指標説明(式)		店							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	119	119	100.0	120	100.8	115	95.8	
	実績	119	117	98.3	112	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

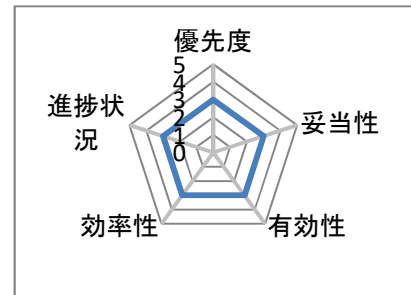
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する	3
効率性	手段の最適性	市内の商店街の状況把握及び支援を行っている商工会議所に事業を委託することは最も適している	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	店主へのアンケート結果に基づいた空き店舗バンクHP作成	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	商店街空き店舗補助も合わせて、適切な広報を行う必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	空き店舗を必要な方に対する広報の方法を検討

配点	32.5
総合評価	19.5



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名 岡部 一成
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者					
	誰(何)を対象として	相生商工会議所					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生商工会議所事業である地域中小企業経営強化、商業活性化対策事業、産業技術大学相生教室事業、景気動向調査等に対し補助を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	会員数(個人)	件	343	330	313	350
	会員数(法人)	件	347	352	349	370

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.052	100	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	740,246	772,448	104	756,308	98	744,744	98	
	事業費	6,322,000	6,259,000	99	6,196,000	99	6,133,000	99	
	合計	7,062,246	7,031,448	100	6,952,308	99	6,877,744	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,062,246	7,031,448	100	6,952,308	99	6,877,744	99	
合計	7,062,246	7,031,448	100	6,952,308	99	6,877,744	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	350	94.6	350	100.0	
	実績	343	330	96.2	313	94.8			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	347	352	101.4	349	99.1			

【効率性】

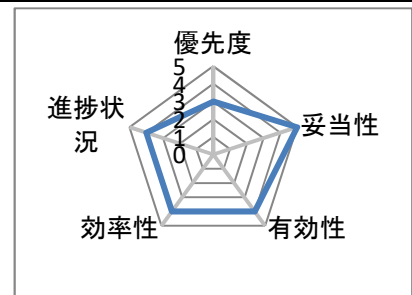
指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	8628	8458	98.0	8606	101.7	8518	99.0	
	実績	9162	8941	97.6	9360	104.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下にあつて、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適していると認める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	会議所職員が欠員状態であり、円滑な運営に支障が出ている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議所の経営努力を促し、会員へのサービス維持、向上に努め、効率的な補助金の運用を図る。

配点	32.5
総合評価	25.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202020300		事業の種類	4				
年度	30	事務事業名	創業支援事業		予算事業名	創業支援事業		優先度	4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本秀文		担当者名	岡部一成	
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する			実施計画への記載	無		主要事業の指定		
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の創業希望者								
	誰(何)を対象として	市内の創業希望者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係する機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業の促進を図る。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市、相生商工会議所、国民政策金融公庫、NPO法人ひと・まち・あーと「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、支援の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。また「コミュニティビジネスを創業する計画」を有する個人や団体に対しても、本事業の支援を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	創業相談者数	人	14	8	8	10	
	創業者数	人	6	3	2	5	
	創業塾受講者延人数	人	65	23	11	50	
	コミュニティビジネス受講者延人数	人	25	25	-	-	

## 3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104		
	参事以下職員	0.048	0.100	208	0.100	100	0.100	100		
	臨時職員			-		-		-		
支出内訳	人件費	710,106	1,142,912	161	1,113,140	97	1,121,784	101		
	事業費	930,370	928,500	100	527,120	57	516,000	98		
	合計	1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100		
合計	1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		創業塾受講者延人数								
指標説明(式)		人								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0		
	実績	65	23	35.4	11	47.8				
指標名2		コミュニティビジネス講座受講者延人数								
指標説明(式)		人								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	25	25	100.0	-	-	-	-		
	実績	25	25	100.0	-	-				

【効率性】

指標名1		創業塾受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	7692	21739	282.6	55556	255.6			

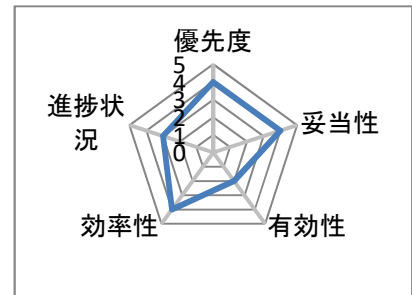
指標名2		コミュニティビジネス講座受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	14000	14000	100.0	-	-		-	
	実績	12960	12960	100.0	-	-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	創業塾の受講者が例年より減少しており、有効に利用されていない。	2
効率性	手段の最適性	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携し、創業者支援を行うことは最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況の中であるが、多くの創業相談を行い、創業者支援を行っている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	創業塾の受講者が例年より減少しており、有効に利用されていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	創業塾の内容を精査し、ニーズに合ったセミナーを開催していく必要がある。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	観光協会推進事業		予算事業名	観光協会推進事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	立花 大地	
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する観光協会の各種事業の補助金とみなとの女王の選出及び活用についての運営費への補助。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	観光客数	人	638048	636751	615600		
	観光協会会員数	個人・団体	218	208	211		

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.293	0.168	57	0.196	117	0.180	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,556,181	1,667,736	65	1,826,804	110	1,750,184	96	
	事業費	2,950,000	2,950,000	100	2,950,000	100	2,950,000	100	
	合計	5,506,181	4,617,736	84	4,776,804	103	4,700,184	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,506,181	4,617,736	84	4,776,804	103	4,700,184	98	
合計	5,506,181	4,617,736	84	4,776,804	103	4,700,184	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	750000	640000	85.3	640000	100.0	640000	100.0	
	実績	638048	636751	99.8	615600	96.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

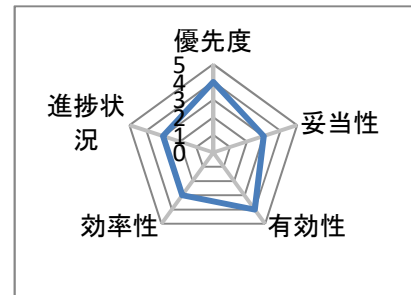
指標名1		相生市観光協会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
部	目標	280	230	82.1	230	100.0	230	100.0	
	実績	218	208	95.4	211	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会の発信のSNSがに効果的な情報発信に機能した。	4
効率性	手段の最適性	市外の観光キャンペーンに積極的に参加した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSによる情報発信を積極的に行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	駅前情報ラウンジの人員確保による安定した施設運営を行う必要がある。近隣市町村、関連施設等との連携を密に行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	駅前情報ラウンジにおけるスタッフのスキル・知識の向上を図る。Spring-8等などの関連施設等との連携を密に行う(サイエンスカフェの内容充実等)

配点	32.5
総合評価	22.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010200	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	観光費事務経費	予算事業名	観光費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文 担当者名 立花 大地
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員			
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図ることと共に、効率的にPR効果を高めるため広域観光協議会に加盟し共同PRを図り、交流人口を増やすことで、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	観光協会会員数	個人・団体	218	208	211	230

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.164	0.156	95	0.156	100	0.160	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,584,166	1,575,120	99	1,529,444	97	1,593,084	104	
	事業費	1,304,453	1,622,620	124	1,365,008	84	1,142,000	84	
	合計	2,888,619	3,197,740	111	2,894,452	91	2,735,084	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,888,619	3,197,740	111	2,894,452	91	2,735,084	94	
合計	2,888,619	3,197,740	111	2,894,452	91	2,735,084	94		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	280	230	82.1	230	100.0	230	100.0	
	実績	218	208	95.4	211	101.4			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)		職員数 (臨時職員1名 パート職員1名)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	2	200.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

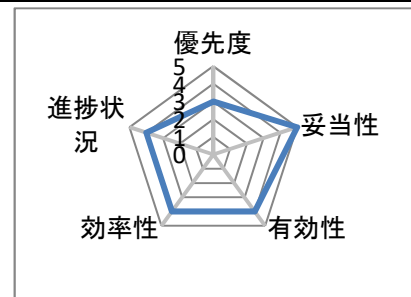
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	広域的な観光協議会を組織することは、重要である。	4
効率性	執行体制の効率性	交通の結末点であり、観光資源の乏しい当市にとって、広域的な協議会でPRに努めることで効率的に業務にあたることができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	観光キャンペーンや駅前配布用のパンフレットを観光協会予算で増刷している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	観光パンフレットの増刷を毎年することで、新しい情報を多くの方に見てもらえるようになる。

配点	32.5
総合評価	25.5



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010400	事業の種類	3
年度	30	事務事業名	観光PR推進事業	予算事業名	優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		相生駅前案内所設置事業		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報発信が可能となる。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	ホームページアクセス数	件	82200	66121	60890	100000
	ブログアクセス数	件	68040	36360	40440	100000

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.133	0.124	93	0.124	100	0.128	103	
	臨時職員			-		-	0.080	-	
支出内訳	人件費	1,350,581	1,328,144	98	1,291,556	97	1,571,324	122	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,350,581	1,328,144	98	1,291,556	97	1,571,324	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,350,581	1,328,144	98	1,291,556	97	1,571,324	122	
合計	1,350,581	1,328,144	98	1,291,556	97	1,571,324	122		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	105000	105000	100.0	105000	100.0	100000	95.2	
	実績	82200	66121	80.4	60890	92.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

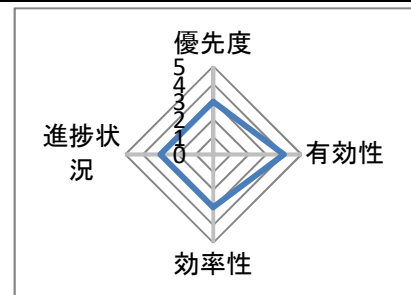
指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	105000	105000	100.0	105000	100.0	100000	95.2	
	実績	68040	36360	53.4	34050	93.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	観光協会のホームページを活用し、相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	4
効率性	執行体制の効率性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当職員の退職等により、ブログ更新の頻度が下がっている。定期的に新鮮な情報を提供できる体制が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	HPの更新年度であるため、業者等との連携により、よりよいHPを作成する。

配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010500	事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	予算事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	相生駅前総合情報発信施設設置管理条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の観光、交通、商業者及び市民のため				
	誰(何)を対象として	市民と当市を訪れる人				
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口減に伴う市場縮小による市内商業、交通機能(事業者)等の存続危機に対応するため、観光と連携し交流人口(ビジネス・観光客等)を活用し産業と地域の活性化を図る。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	地域の交通拠点であるJR相生駅前の交通機能利用者(交流人口・市民)の利便・快適性を向上し適時の情報提供を行うことで、新たな商機を創出し地域の活性化につなげる。その起点施設として、「あいおい情報ラウンジ」を設置するため、計画検討、施設的设计・建設を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	駅前施設の利用者	人/年	-	-	42900	43000
	相生駅乗客数	人/日	4,600	4,600	4540	4600
	神姫バス乗車人数	人/日	2,339	2,353	2298	2300
	市内観光客推計人員	千人/年	638	637	616	620

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.388	0.940	242	0.620	66	0.548	88	
	臨時職員			-	0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	3,272,006	7,626,032	233	5,200,340	68	4,870,424	94	
	事業費	11,884,480	59,812,944	503	6,786,872	11	4,608,000	68	
	合計	15,156,486	67,438,976	445	11,987,212	18	9,478,424	79	
財源内訳	国庫支出金		25,000,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債		25,000,000	-		0		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,156,486	17,438,976	115	11,987,212	69	9,478,424	79	
合計	15,156,486	67,438,976	445	11,987,212	18	9,478,424	79		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生駅前総合情報発信施設運営協議会 開催回数								
指標説明(式)	※ 相生駅前総合情報発信施設運営協議会 施設の機能、運営事業等を協議する機関 (委員:交通事業者、商業者等8名)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標		3	-	3	100.0	1	33.3	
	実績		3	-	0	0.0			
指標名2	あいおい相生情報ラウンジ来館者数								
指標説明(式)	年間来館者数(人) ※平成30年4月供用開始								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	28,800	-	43000	149.3	
	実績			-	42900	-			

【効率性】

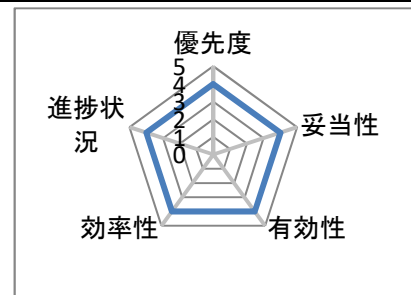
指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者一人当たりコスト							
指標説明(式)		施設運営費(円)／年間来館者数(人)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	173	-	160	92.5	
	実績			-	158	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設の設置にあたり、JR等交通事業者、駅前商店連合会、自治会等、各関係者で施設運営協議会を組織し、様々な立場の意見を聴取し協議を行い、事業運営や施設設計等に活かした。	4
	期待する目標	施設利用者の拡大を図るため、様々な利便サービスを検討し、それらの実施に向け調整を行う。	
効率性	執行体制の効率性	施設内で観光案内所を運営する相生市観光協会に施設の管理運営を委託し、同じく施設内で業務を行う交通事業者の協力も受け施設運営を行うことで人件費等の効率化を図る。	4
	手段の最適性	駅前が全面的に変わることによって相生市が良くなる印象を市民や交通機能利用者に強く与えるため、民間に協力依頼し、JRの駅舎改修や駅前広場駐車場の機械化等の投資を呼び起こし、駅周辺の利便快適性の向上を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度に策定した相生市観・交・商連携型地域活性化計画に基づき、平成29年度に施設設置計画を取りまとめ、設計施工を行った。また、計画どおり、平成30年4月に施設を供用開始し現在順調に運営を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	少数のスタッフで効率的な運営を行っているが、施設の設置目的にふさわしい適切な対応や管理ができていないかの確認と配慮が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	様々な利用者に対し、それぞれのニーズに合った施設運営を行う。

配点	32.5
総合評価	26

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業			ペーロン乗艇場整備			
		ペーロン100周年記念事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		例年どおり5月に、相生ペーロン祭を開催した。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	観光客	人	120000	120000	120000	120000	
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	66	64	65	65	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	1.200	0.840	70	0.968	115	1.120	116	
	臨時職員			-	0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	9,390,426	6,854,232	73	7,787,372	114	9,363,484	120	
	事業費	15,147,000	15,993,600	106	19,828,800	124	16,700,000	84	
	合計	24,537,426	22,847,832	93	27,616,172	121	26,063,484	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	24,537,426	22,847,832	93	27,616,172	121	26,063,484	94	
合計	24,537,426	22,847,832	93	27,616,172	121	26,063,484	94		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	120000	120000	100.0	120000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

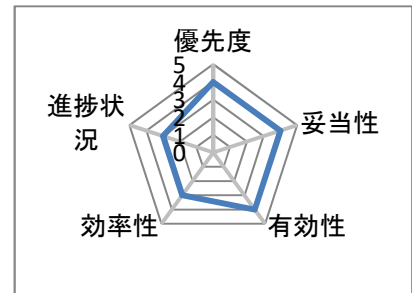
指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	126	125	99.2	130	104.0	170	130.8	
	実績	126	133	105.6	165	124.1			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、テレビ番組等で取り上げていただき、県外にも相生市のPRをすることができた。	4
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や来場者へのペーロン祭募金を実施し財源確保に努めるものの、警察からの要請による警備員の増強等によりその経費が増加している。	3
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	警備費は、前年ベースで足りない箇所を補うため、年々増加している。効果的な配置の再検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	警備員の適正配置を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020200	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業	予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業   優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本秀文	担当者名
取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	11月第2日曜日に開催。矢野町瓜生の自然を利用したイベント。市民参加型のかがしコンテストやステージイベントや各種バザーなどを実施。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	観客数	人	12000	12000	12000	12000
	かがし出品数	体	1000	1000	1000	1000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.432	0.476	110	0.512	108	0.480	94	
	臨時職員			-	0.200	-	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,603,546	4,044,880	112	4,729,748	117	4,680,684	99	
	事業費	1,980,000	1,960,000	99	1,940,000	99	1,920,000	99	
	合計	5,583,546	6,004,880	108	6,669,748	111	6,600,684	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,583,546	6,004,880	108	6,669,748	111	6,600,684	99	
合計	5,583,546	6,004,880	108	6,669,748	111	6,600,684	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	もみじまつり観客数								
指標説明(式)	もみじまつり当日(土日)の観客								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10000	12000	120.0	12000	100.0	12000	100.0	
	実績	12000	12000	100.0	12000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

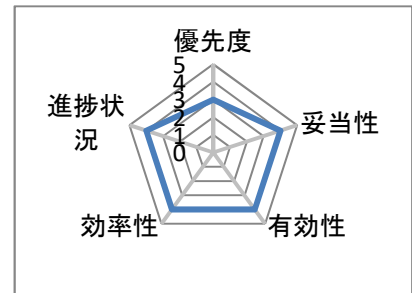
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/観客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	500	504	100.8	508	100.8	550	108.3	
	実績	465	500	107.5	555	111.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が晴れたため、多くの来場者があった。	4
効率性	手段の最適性	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	4
	執行体制の効率性	イベントのコーナーを分散化し、それぞれの担当を各種団体をお願いすることで、市民団体のやる気等、モチベーションの向上につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	3年連続で晴天に恵まれたが、来場者が多くイベント終了までに、バザーが売り切れた。交通渋滞については適切な運営を行った。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	来場者にはがっかりさせないような出店体制を整える必要がある。

配点	32.5
総合評価	24



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	観客数	人	20000	20000	20000	20000

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.248	0.296	119	0.456	154	0.272	60	
	臨時職員			-	0.200	-	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,217,106	2,655,640	120	4,313,444	162	3,046,844	71	
	事業費	693,000	686,000	99	680,000	99	673,000	99	
	合計	2,910,106	3,341,640	115	4,993,444	149	3,719,844	74	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,910,106	3,341,640	115	4,993,444	149	3,719,844	74	
合計	2,910,106	3,341,640	115	4,993,444	149	3,719,844	74		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20000	20000	100.0	20000	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

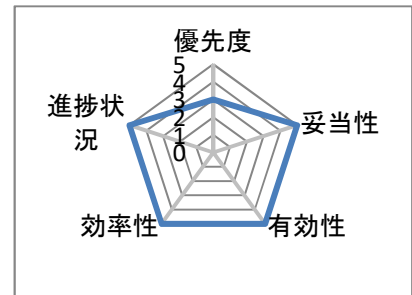
指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	159	159.0	185	116.4	
	実績	145	167	115.2	249	149.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	5
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランドを高めることで、効率的に水産業の活性化を進めることが出来る。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	全庁体制で、相生牡蠣のブランド化を進める必要がある	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	当日の天気次第で祭の盛り上がりが左右される。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	スポンサーからの提供を更に拡充させるべく、事前の交渉に力を入れる。

配点	32.5
総合評価	28.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020400	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	相生ペーロン振興事業	予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	岡部一成
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生対象に体験乗船会を実施				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	体験乗船参加者数	人	2506	2573	2625	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.192	0.180	94	0.184	102	0.372	202	
	臨時職員			-	0.188	-	0.200	106	
支出内訳	人件費	1,795,146	1,760,352	98	2,258,168	128	3,832,344	170	
	事業費	550,000	550,000	100	550,000	100	650,000	118	
	合計	2,345,146	2,310,352	99	2,808,168	122	4,482,344	160	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,345,146	2,310,352	99	2,808,168	122	4,482,344	160	
合計	2,345,146	2,310,352	99	2,808,168	122	4,482,344	160		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校生及び、市外の参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2500	2500	100.0	2500	100.0		0.0	
	実績	2506	2573	102.7	2625	102.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

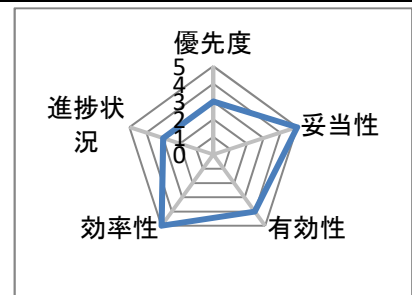
指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校及び、市外の実施回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0		0.0	
	実績	18	19	105.6	18	94.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	4
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは適正と考える。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	体験乗船のニーズが高まっているが、執行体制が固定化し、事業拡張できない状況である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	協会や協力者の高齢化が進んでおり、平日での開催が困難になってきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生ペーロン海館活用検討委員会にて体験乗船の運営自体の見直しを検討し、実施の適正化を図る

配点	32.5
総合評価	25.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業	優先度	5
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン海館として、ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン体験乗船を中心とするペーロン振興の拠点とすること。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン競漕で使用するペーロン船を格納するとともに展示し、観光客の見学を実施するとともに、ペーロン体験乗船の拠点としている。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	開館日	日	365	254	231	230	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.340	1,700	0.020	6	
	臨時職員			-		-	0.040	-	
支出内訳	人件費	468,986	525,472	112	2,897,300	551	608,184	21	
	事業費	2,400,000	3,651,249	152	3,942,365	108	3,777,000	96	
	合計	2,868,986	4,176,721	146	6,839,665	164	4,385,184	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,868,986	4,176,721	146	6,839,665	164	4,385,184	64	
合計	2,868,986	4,176,721	146	6,839,665	164	4,385,184	64		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館の開館日数							
指標説明(式)		日							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
日	目標	365	365	100.0	231	63.3	231	100.0	
	実績	365	254	69.6	231	90.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

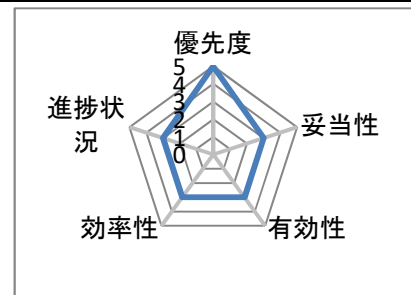
指標名1		管理委託料							
指標説明(式)		ペーロン海館管理料(案内人件費、光熱水費、消耗品費等)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
日	目標	2400000	1080000	45.0	4720000	437.0	3412000	72.3	
	実績	2400000	3651249	152.1	3187245	87.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習や体験乗船、観光客が見学などで多く訪れている。	3
効率性	執行体制の効率性	新しく建設された相生ペーロン海館では、ペーロン選手の方が受付業務を行うことで、来館された方に、ペーロンをより深く知ってもらうことができる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	施設の特性に依じた管理契約を行い、契約に基づき適正に管理されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効率的かつ効果的な管理が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生ペーロン海館活用検討委員会にて検討する。

配点	32.5
総合評価	23.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020800	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	道の駅管理運営事業	予算事業名	道の駅管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	担当者名
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名		道の駅管理運営			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城の管理運営を委託。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	道の駅管理委託料	円	3196800	3196800		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.028	0.032	114	0.052	163	0.032	62	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	559,406	618,088	110	756,308	122	645,044	85	
	事業費	5,689,399	5,491,332	97	5,375,388	98	5,892,000	110	
	合計	6,248,805	6,109,420	98	6,131,696	100	6,537,044	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,248,805	6,109,420	98	6,131,696	100	6,537,044	107	
合計	6,248,805	6,109,420	98	6,131,696	100	6,537,044	107		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅来場者数							
指標説明(式)		道の駅来場者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	316555	304141	96.1	293809	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		道の駅来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/来場者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適性に管理運営を実施できたとともに、昨年度新設したEV充電設備が有効に活用されている。	4
効率性	コストの節減	委託料は、据え置かれている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	4

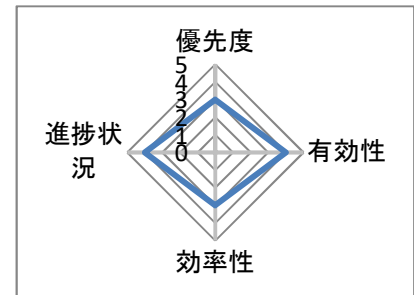
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	2年連続で利用者数が減少している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	直売コーナーの空調整備などにより、利用者が滞在するに当たりより心地よい空間を作る必要がある。



配点	25
総合評価	17



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020900	事業の種類	6
年度	30	事務事業名	ペーロン海館建設事業	予算事業名	優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本秀文	担当者名
取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名	新ペーロン艇庫建設				無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.588	1.128	192		0		-	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	4,779,006	9,077,016	190	369,740	4	393,684	106	
	事業費	151,437,924	139,403,866	92		0		-	
	合計	156,216,930	148,480,882	95	369,740	0	393,684	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	156,216,930	148,480,882	95	369,740	0	393,684	106	
合計	156,216,930	148,480,882	95	369,740	0	393,684	106		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	10	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	5	10	200.0	0	0.0			

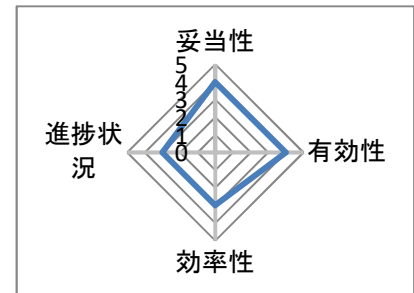
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	4
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	艇庫棟等の建設工事及び工事監理委託を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	確実な施工管理をおこなうこと。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	体験乗船を始め、集客により地域の活性化を図る

配点	32.5
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名	優先度		4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者						
	誰(何)を対象として	第三セクター						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	株式取得		-	4,000	-	-

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
合計	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	316,555	304,141	96.1	291,907	96.0			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0		0.0	
	実績	3	4	133.3	4	100.0			

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			

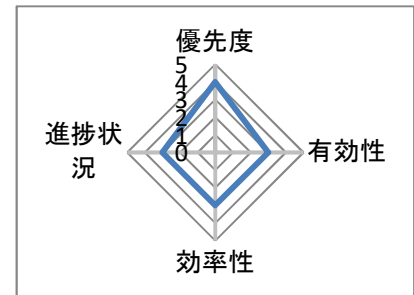
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	同様の施設との競争激化により、前年比においても入場者数は減少が続いている。	3
	市民サービス	道の駅ということで、相生市内の交流人口の核となっているだけでなく、通常時においても物販コーナーなど市民のにぎわいの場としても有効である。	
効率性	手段の最適性	相生湾臨海部ににぎわいの場の創出手段としては交流人口集客施設として必要である。	3
	負担割合の適正化	平成29年度において株式取得を行ったが、損失補償等を行っていないため適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	道の駅、海の駅としてにぎわいの拠点としているが、入場者・売上ともに減少が続いており目標達成が厳しい状況にある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	旧ペーロン海館は、市所有であるため、相乗効果となるにぎわい拠点としての活用が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	旧ペーロン海館について、市の活性化として、ペーロン城全体の利用促進となる方策を検討する。

配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203021100	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	ふるさと応援大使活用事業	予算事業名	ふるさと応援大使活用事業   優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	全国の相生市を応援してくれる人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市に移住、定住、ふるさと応援寄付をしてくれる人を増やす。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	ふるさと応援大使(出水麻衣、みなとの女王OG、ど根性大根大ちゃん)の各自の働きにより、市の知名度を上げる。また、その活動の中で、市のイベントや特産品等のPRを行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	キャンペーン実施回数	回	5	2	2	4
	グランプリ順位	位	377	359	440	-

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.048	0.112	233	0.112	100	0.112	100	
	臨時職員			-		-	0.040	-	
支出内訳	人件費	710,106	1,235,528	174	1,202,348	97	1,330,844	111	
	事業費		330,805	-	353,380	107	570,000	161	
	合計	710,106	1,566,333	221	1,555,728	99	1,900,844	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	710,106	1,566,333	221	1,555,728	99	1,900,844	122	
合計	710,106	1,566,333	221	1,555,728	99	1,900,844	122		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	観光PRキャンペーンの回数								
指標説明(式)	回数								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標		2	-	2	100.0	4	200.0	
	実績	5	2	40.0	2	100.0			
指標名2	ゆるきゃらグランプリ ど根性大ちゃん順位								
指標説明(式)	順位								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	350	370	105.7	350	94.6	-	-	
	実績	377	359	95.2	440	122.6			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

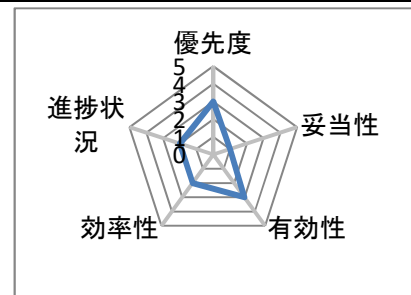
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	ど根性大根知名度アップを図ることで、相生市の知名度を上げる	3
効率性	執行体制の効率性	ゆるキャライベントに参加することで、参加している方々に相生市を知ってもらう。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援大使事業活動を徐々に広める。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ふるさと応援大使事業は、みなとの女王OGIによる活動が中心であるが、指標がなく、ゆるキャラを指標としており、純粋な成果目標となっていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	ふるさと応援大使にSNS等で当市の情報を広めてもらう。また、大ちゃんについては、イベント等への出動増加により周知を図る。

配点	32.5
総合評価	14.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203030100	事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	ふるさと交流館管理事業	予算事業名	ふるさと交流館管理事業   優先度	4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業					
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと交流館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び施設利用者					
	誰(何)を対象として	地域住民及び施設利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	交流館利用者数	人	5,621	5,076	4,645	5,500

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.088	0.120	136	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,011,506	1,297,272	128	1,261,820	97	1,278,884	101	
	事業費	8,748,586	8,277,236	95	7,763,776	94	8,095,000	104	
	合計	9,760,092	9,574,508	98	9,025,596	94	9,373,884	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,760,092	9,574,508	98	9,025,596	94	9,373,884	104	
合計	9,760,092	9,574,508	98	9,025,596	94	9,373,884	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		施設利用者の人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10,000	9,000	90.0	5,500	61.1	5,500	100.0	
	実績	5,621	5,076	90.3	4,645	91.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

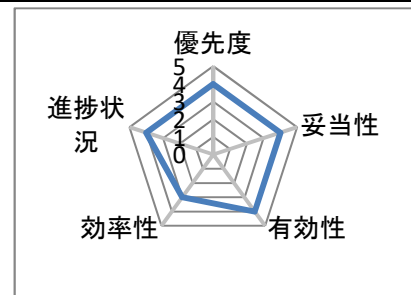
指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費 ÷ 利用者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,500	1,500	100.0	1,500	100.0	1,500	100.0	
	実績	1,736	1,886	108.6	1,943	103.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者の増加や飲食収入の確保等により、施設での利益確保が図れた。	4
	市民サービス	アンケート調査の反映するなど食事メニューの定期的な見直しによりサービス向上を図った。	
効率性	コストの節減	利用率を上げ、コスト削減を行う必要がある。	3
	執行体制の効率性	、市への連絡・報告体制の強化や、利益を生み出す経営に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者における運営は概ね良好である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴う、計画的な修繕の必要性及び予算化。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設及び設備の修繕計画の作成を検討する。

配点	32.5
総合評価	25



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名 船曳 直志
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用者数(市民)	人	4162	3906	3540	4500
	利用者数(市外)	人	17757	17440	20086	17500
	整備箇所	箇所	4	4	5	4
	整備事業費	円	5345989	2364120	8995320	4000000

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.068	0.040	59	0.108	270	0.148	137	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	860,806	679,832	79	1,172,612	172	1,556,224	133	
	事業費	5,345,989	5,466,807	102	11,407,035	209	6,941,000	61	
	合計	6,206,795	6,146,639	99	12,579,647	205	8,497,224	68	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,206,795	6,146,639	99	12,579,647	205	8,497,224	68	
合計	6,206,795	6,146,639	99	12,579,647	205	8,497,224	68		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村利用者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	22000	22000	100.0	22000	100.0	22000	100.0	
	実績	21919	21346	97.4	23626	110.7			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷359日×10棟							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	24.3	24.5	100.8	26.8	109.4			

【効率性】

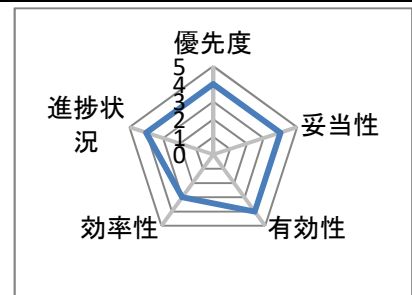
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	352	246	69.9	519	211.0	316	60.9	
	実績	244	278	113.9	483	173.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、昨年より2,275人の減だが、コテージの稼働率は昨年より増となっている。	
効率性	コストの節減	平成29年度より、民間の指定管理者としているが、施設が老朽化しているためコスト縮減はこれからの課題である。	3
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス向上による、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	老朽化した施設の、維持・管理・更新。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	アンケート等により、利用者ニーズに合った施設の運営管理を行う。

配点	32.5
総合評価	25

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040204010100		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業		予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	岡部 一成
取組み事項		地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員					
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	247	223	206	240
	受講企業数(延べ)	社	28	46	25	30

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	525,472	112	518,420	99	493,384	95	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	合計	668,986	725,472	108	718,420	99	693,384	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	668,986	725,472	108	718,420	99	693,384	97	
合計	668,986	725,472	108	718,420	99	693,384	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生技能研修センター研修受講者数							
指標説明(式)		研修受講者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	297	286	96.3	250	87.4	240	96.0	
	実績	247	223	90.3	206	92.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

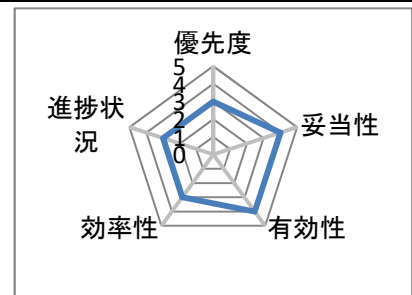
指標名1		受講者一人当たりに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷総受講者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	673	699	103.9	800	114.4	800	100.0	
	実績	809	897	110.9	971	108.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、県9.5%、市3.3%である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	IHIグループと相生商工会議所が主体的に実施している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現体制を維持した状態で運営をしていく。

配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040204020100	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	中小企業小額資金融資事業	予算事業名	中小企業小額資金融資事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		中小企業の経営改善強化に向けた支援をする		担当者名	岡部 一成
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定 無
根拠法規及び関連法規		相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者			
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		①市制度融資事務 保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼 ②利子補給事務 保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度とし				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	融資総額	千円	69900	65500	18500	20000
	保証料補助額	円	1599687	938167	223817	500000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.040	0.036	90	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	649,826	648,960	100	637,364	98	619,064	97	
	事業費	1,599,687	938,167	59	223,817	24	1,200,000	536	
	合計	2,249,513	1,587,127	71	861,181	54	1,819,064	211	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,249,513	1,587,127	71	861,181	54	1,819,064	211	
合計	2,249,513	1,587,127	71	861,181	54	1,819,064	211		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市制度融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	6	30.0	10	166.7	10	100.0	
	実績	21	11	52.4	6	54.5			
指標名2		保証料補助件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	6	30.0	10	166.7	10	100.0	
	実績	20	10	50.0	4	40.0			

【効率性】

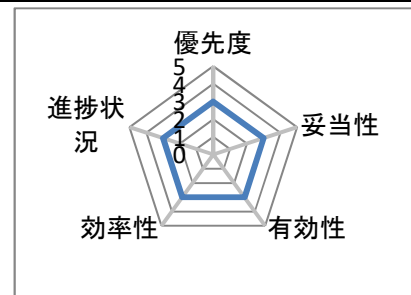
指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	125000	150000	120.0	125000	83.3	100000	80.0	
	実績	79984	93817	117.3	55954	59.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	計画数より件数、補助額ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画数より件数、補助額ともに減少傾向にある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	件数、補助額ともに減少傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市内金融機関の融資担当者に対する周知を徹底していく。

配点	32.5
総合評価	19.5